

質問5

更新問題を放っておくとどうなるの？

●施設は日々、劣化しています。老朽化した施設が増え、施設の不具合も起きていますが、限りある財源の中では全てを修繕することができていません。

更新問題に取り組まなければ、施設が快適に使えなくなるだけでなく、施設の使用禁止にもつながりかねません。



施設の再配置によって更新費用を浮かし、それを施設修繕に回すことも一つの手段だね。



事故が起きないように点検を行っているけど何だか心配だね。



優先度をつけて修繕しているって聞いたよ。

質問6

とにかく施設を減らせばいいってこと？

●鳥取市では、施設にかかる更新費用を抑えるため、施設をスリム化（40年をかけて29%縮減※）する目標を立てています。

一方で、公共施設は、市民の暮らしを支える役割を持っています。施設を減らしすぎて“費用は抑えたが、市民生活に多大な悪影響”があっては、本末転倒です。

鳥取市では、将来のまちづくりを見据えて、公共サービスを維持・向上しつつ、施設にかかる費用を抑える「公共施設の再配置」をめざしています。

更新問題は、大きな課題ですが、人口が減少し、施設が建替え時期を迎えるイマこそが、変革のチャンスとも言えます！

全部は残せないけど必要があって施設を作ってきたんだから、よく考えて更新しないとね。



※延床面積ベース

質問7

まず、何を始めればいいのか？

●「公共施設の更新問題」は、全国の自治体が初めて直面する大きな課題です。問題の解決に向けては、行政だけの取り組みではなく、市民・事業者等と一緒に創意工夫し、再配置を実践して行く必要があります。

その原動力は、みなさんと課題や基本的な考え方を共有することです。

「公共施設の更新問題」に関心を持って“まず情報を正しく知る”ことが取り組みの第一歩となります。

「更新問題」、「新しい公共施設経営」について学習できるDVDを小・中学校、各地区公民館に配布して、学習に活用していただくよう願っています。

DVDは鳥取市立図書館で貸し出ししているほか、市公式ウェブサイトからもご覧いただけます。



映像はこちらから



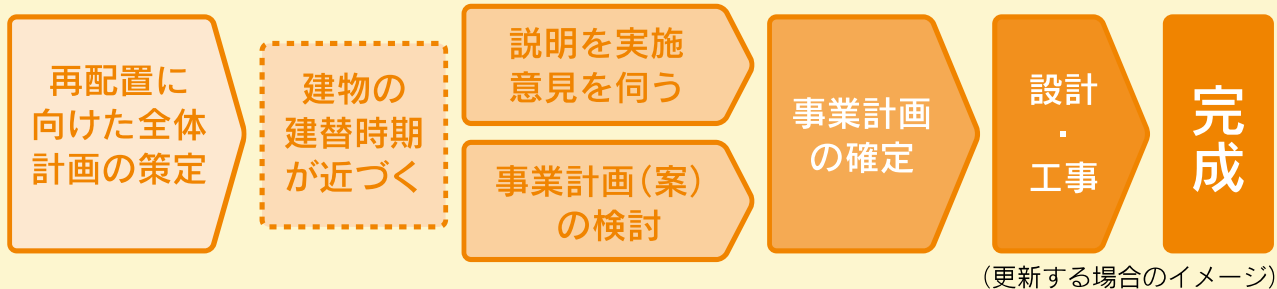
質問8

市民や利用者の意見はどのように聞くの？

●平成27年2月、「新しい公共施設経営」の取り組み指針となる「鳥取市公共施設の経営基本方針」を策定し、平成28年3月には、より具体的な計画となる「鳥取市公共施設再配置基本計画」を策定しました。

今後は、これらの計画をふまえて具体的な事業の検討をしていきます。

実際に各施設の更新等を検討する際は、地域の実態にあった内容とするため、地域の提案や意見を活かしていきます。（施設用途や規模に応じて、意見交換会や説明会を開催し、市民の皆さんや利用者の方々の意見を伺います）



●本市では、施設の活用等について地域からの具体的な提案をお待ちしています。

詳しくは、市公式ウェブサイトの『エリアマネジメント（※）検討グループ募集』をご覧ください。

（※）エリアマネジメントとは、一定の地域内における複数施設を対象として、その再配置（複合化・統合・転用等）や利活用、維持管理、運営手法等の検討に取り組むことをいいます。

みんなの意見で
より良い施設を！



コラム さらに進んだ『公民連携（PPP）』をめざす

『公共施設の更新問題』と聞くと、暗いイメージになりますが、“新しいまちづくりへの転換期がやってきた”と前向きに捉えてはどうでしょうか？

そのキーワードは、『公民連携（PPP：パブリック・プライベート・パートナーシップ）』です。

行政（自治体）と民間事業者が、それぞれの特性や強みを生かし連携することで、効率的かつ効果的な公共施設サービスの提供が可能となり、「魅力ある公共施設」、「新しいまちの価値」にもつながっていきます。

これまでと違う「公民連携」をめざしませんか？

公民連携のイメージ

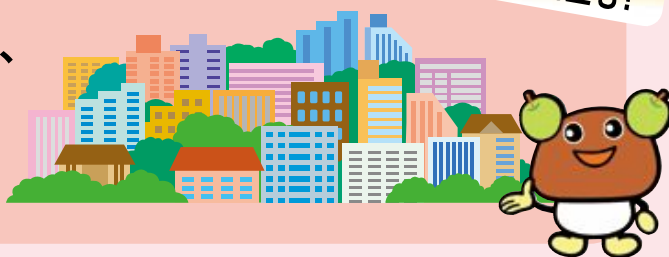


お互いの特性・強みを活かした連携



新しいまちの価値を生み出し、
魅力ある公共施設の
実現を図ります！

企業イメージの向上も！



公民連携の事例

本市における公民連携の事例について紹介します。

○福部町総合支所内への郵便局誘致

行政サービスと郵便局のサービスが1つの建物内で受けることが可能となり、利便性が向上しました。また、貸付収入を得ることで、財源確保にもつながっています。



○旧日置谷小学校（青谷町）を貸出、植物工場として活用

廃校となっていた空き施設を民間事業者に貸し出し、有効活用することで、雇用の創出（企業誘致）や地域の活性化に貢献しています。



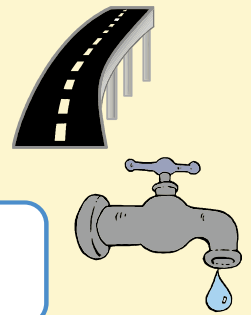
質問9

建物以外の道路や上下水道などはどうするの？

●道路や上下水道、橋りょうといったインフラについても、長期的な視点をもって計画的に対応していくことが重要です。

それぞれのインフラについて、計画的な修繕や長寿命化に向けた計画を策定し、公共建築物と同様に経営的視点による取り組みを進めています。

平成27年12月、公共建築物とインフラの維持管理・更新等に関する基本的な方向を示した「鳥取市公共施設等総合管理計画」を策定しました。



質問10

再配置を進めると公共施設はどうなるの？

●再配置によって効果的な施設の更新が進むことで、施設をより快適・安全に利用することができます。

●異なる機能を持つ施設が一つになれば、一つの施設で複数のサービスが受けられるとともに、様々な利用者による新たな交流・コミュニティが生まれるきっかけとなります。

●保有する施設が減少する（不要な施設がなくなる）ことで、更新や維持管理にかかるコストが削減されます。

●施設の有効活用を進めることで、地域活性化やサービス・魅力のUP、収入増などにつながります。

○施設の利用方法や位置等が、今までと異なることで不便を感じる可能性もあります。（移動手段などにも配慮して、できるだけ不便さをおさえます。）

メリットの方が
多い気がするね！



公共施設の再配置
(新しい公共施設経営)
でめざす姿が
これだね(^^)

将来にわたって、

市民に過度な負担を押し付けない、

「いつまでも暮らしたい、

誰もが暮らしたくなる鳥取市」の実現

●鳥取市では、公共施設に関して、
次の方針・計画等を策定・公表しています。

- ・鳥取市公共施設白書
- ・鳥取市公共施設の経営基本方針
- ・鳥取市公共施設再配置基本計画

鳥取市 総務部 総務調整局 財産経営課
〒680-0845 鳥取市富安二丁目138-4
電話 0857-20-3852
E-mail : zaisankanri@city.tottori.lg.jp

公共施設の再配置は、公共サービス・市民生活を守りつつ、鳥取市を次世代に健全な状態で引き継ぐための取り組みです。
みんなで創意工夫して『公共施設の更新問題』を乗り越えていきましょう！

計画内容はこちらから

